

学校教育目標	個性と創造性に富み、心身ともにたくましい子どもの育成～自立×自律⇒協働的な問題解決力を伸ばす～
育成を目指す資質・能力	学ぶことのおもしろさを感じる授業、学ぼうとする意欲を育てる授業を通して、確かな学力の定着・向上

	学力状況について	学習状況について
児童生徒の課題	各種学力調査の分析結果から明らかになった課題 ・語彙力が少ない ・文章を読み取って答えたり、自分の考えを文章にしたりすることが苦手 ・基本的な計算・かけ算九九の定着ができていない ・どの教科においても思考力・判断力・表現力が弱い	各種学力調査の分析結果から明らかになった課題 ・生活体験が学習内容に結び付いていない ・読書量と質の不足 ・書く活動の不足(始め・中・終わりの意識、条件作文等) ・家庭学習の方法と内容の見直し(ICT活用、前学年の問題)
	これまでの学力向上の取組に対する児童生徒の状況(授業及び授業以外の側面から) ・単元末テストの結果、低学力層6%以下は達成できているが、平均での達成であり、4、5、6年の算数では6%を超えている。どの教科においても「思考力・判断力・表現力」が弱い。 ・授業の中で、ICTやUDを意識した授業を行ったり、自分の考えを書く時間や交流、発表する機会を保障したりして、基礎基本の定着を図ってきた。自分の考えや相手や目的を意識した文章を書く力が弱い。	
指導の状況	1 組織的な授業改善の取組状況 ・落ち着いた学習ができるように年度初めには学習規律、板書とノートの基本の型を学校で統一している。また週始めには学習道具調べをしており、全学年そろった指導ができています。 ・「ユニバーサルデザイン」の授業」についての研修も行い、学力の向上、定着に努力している。 ・検証授業、互見授業を通しての授業改善を図る。 2 その他の学力向上に向けた指導の取組状況 ・家庭学習の手引きを配布し、家庭学習の習慣の定着のため周知した。 ・「めあて」「課題」「まとめ」「振り返り」を毎時間位置づけるようにしている。	

学力に関する達成指標

授業が楽しいと感じる児童90%以上

